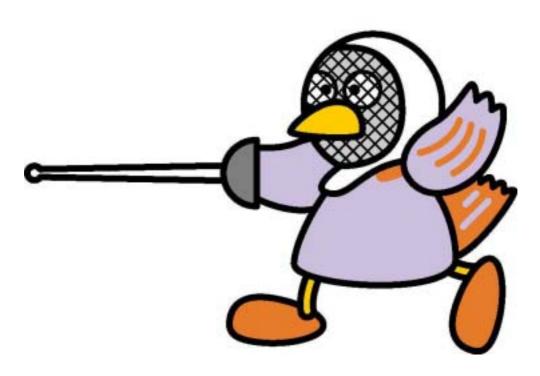
消失年級

平成 14 年版



埼玉国体フェンシング大会キャラクター「コバトン」

蓮田市消防本部 (平成 15 年刊行)

はじめに

平素から消防防災体制の充実・強化につきましては、深いご理解と多大なる ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、関係各位のご協力により、安全で安心な市民生活の確保と消防行政サービスの要求が多岐にわたっているところですが、頻発する災害の複雑化、大規模化により市民からの防災に対する期待がますます増大しているところでございます。

このような現状において、平成 16 年 1 月には「常備消防発足 4 0 周年」の節目を迎え消防行政の更なる飛躍を念願し、市民の信頼に応え、誰でもが安心して暮らせる、「災害に強い街づくり」を積極的に推進しているところです。

この年報は、平成14年(度)の蓮田市消防本部における主要な消防現況を 広く紹介し、消防の実態をご理解いただくと共に今後の消防行政の参考にする ために編集いたしました。

平成15年10月

蓮田市消防本部



蓮田消防歌

編曲 平 力 作詞 前田淳一

学び鍛えた愛ある 消防蓮田 大きな危険に満ちている 炎が相手だ 大きな危険に満ちている 炎が相手だ

学び鍛えた愛ある 消防蓮田市民と共にこの力あわせて 今日も慈しむ生命の星を担う 我ら救急隊

市民の生命財産を守るため 尊いこの使命輝くオレンジ色は 勇気のしるし三、 人命救助に立ち向かう 我らレスキュー隊

学び鍛えた愛ある 消防蓮田

全 消防の治草(通差5年間)

昭和39年 1月 昭和29年の町村合併以来純農村地帯であった当町にも年々都市 化の波が押し寄せ人口が急激に増加した。

又、工場・事業所の進出と自動車等の交通量の増加と共に危険物施設等が多くなり、常備消防の必要がせまられ、蓮田町上2丁目1番14号に蓮田町消防団常備部を設置する。部長に役場消防係、宮澤春雄氏が就任し、外6名の団員で業務を開始する。

(省略)

平成 10 年 3 月 消防課長 関根幸男氏・分署長 岩崎昌男氏・消防署長補佐 大野勝 年氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。

4月 7代目消防長に吉川秀雄氏が就任する。

埼玉県内の携帯電話による 119 番通報の受信・転送業務を開始する。

消防職員3名増員になり実員86名となる。

第 13 回救急救命士国家試験に合格し、2 人目の救急救命士が誕生する。

- 10月 第2分団消防ポンプ自動車を更新する。
- 12月 防火水槽(耐震性)40m³級 型1基(大字馬込・蓮田地内保留 地24-1街区1-1画地)設置する。

防火水槽(耐震性) 40 m³級 型1基(西新宿3-84)設置する。

平成 11 年 2月 消防署、高規格救急自動車(日産)を購入し更新する。

3月 消防課長 齋藤幸男氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。

消防署、指令2(ホンダステップワゴン)を購入し更新する。

4月 消防職員1名欠員、1名増員になり実員86名となる。 消防団長に篠﨑邦明氏が就任する。

平成 12 年 3 月 防火水槽(耐震性) 4 0 m³級 型 1 基 (蓮田市東 2 - 4 南彩農業協 同組合蓮田中央支店駐車場)設置する。

南分署の隣接土地 311 ㎡を購入し敷地拡張をする。

第5分団消防ポンプ自動車を更新する。

- 4月 消防職員 2 名増員になり実員 88 名となる。 8 代目消防長に海老原秀男氏が就任する。
- 8月 第 21 回埼玉県消防操法大会に消防団第 3 分団が出場し優勝する。 防火水槽(耐震性) 4 0 m ³級 型 1 基 (上 2 丁目 3695 番地 10) 設 置する。
- 11月 第18回救急救命士国家試験に合格し、3人目の救急救命士が誕生する。
- 平成13年 1月 消防職員1名退職により実員87名となる。
 - 3月 消防団第2・第3分団詰所を解体処分し、上2丁目3695番地10

に新築する。鉄骨 2 階建、102.06 m²

- 4月 消防団組織一部改正し6ヶ分団制となる。 (株セイコーアドバンスより連絡車(スズキワゴンR)を寄贈される。
- 5月 消防職員1名退職により実員86名となる。
- 7月 組織改革により署に主幹を置く。
- 12月 防火水槽(耐震性) 40 m³級 型1基(井沼 851 番地 9 井沼自冶 会館)設置する。
- 平成 14 年 2 月 資機材搬送車を更新する。(無線呼出名称:蓮田機材1) 消防本部・署庁舎の隣接地を購入し敷地を拡張する。
 - 3月 第5分団消防ポンプ自動車を更新する。
 - 4月 消防職員1名増員になり実員87名となる。 第21回救急救命士国家試験に合格し、4人目の救急救命士が誕生 する。
 - 10月 消防職員1名退職により実員86名となる。
- 平成 15 年 3 月 消防署南分署消防ポンプ自動車を更新する。 消防団第 1 分団詰所を解体処分し、東 5 丁目 7 番地 2 号に新築する。鉄骨 2 階建、102.06 ㎡
 - 4月 消防職員1名退職し、女性消防職員1名の増員により実員85名(消防吏員84名・事務吏員1名)となる。
 - 9代目消防長に関根幸男氏が就任する。

平成14年の主な出来事

1月	田中外相更迭 小泉首相は 1 月 29 日、外相としての資質を問われるトラブルを起こして いた田中外相を更迭した。読売新聞社緊急世論調査で内閣支持率は 46.9% と約 30 ポイント急落した。
2月	ソルトレイクしティー冬季オリンピックが開催 21世紀最初のオリンピックとなる、第 19 回冬季オリンピックが、アメリカソルトレイクしティーで開かれた。日本はスピードスケート男子 500mで清水宏保選手が銀メダル、フリースタイルスキー女子モーグルで里谷多英選手が銅メダルを獲得した。
5 月	日韓共催で開かれたサッカー・ワールドカップで、日本は 16 強入り日本と韓国の共同開催による第 17 回サッカー・ワールドカップが 5 月 31日から 6 月 30 日まで行われた。アジアでの初開催、そして 2 カ国で共催するのも初めてという歴史的な大会で、日本は初のベスト 16 となり、日本国民が一体となったイベントだった。
7月	台風上陸 二つの台風が日本列島に上陸した。7月に複数が上陸したのは、1993年以 来の異例の事態だった。
8月	多摩川の「タマちゃん」が人気者に 多摩川にアゴヒゲアザラシが出現し、愛くるしい姿からテレビに頻繁に登 場。人々の心を和ますとともに野生動物の保護について議論を起こした。
9月・10月	初の日朝首脳会談・拉致被害者 5 人帰国 9月17日、小泉首相が日本の首相として初めて朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮)を訪問し、北朝鮮の最高指導者金正日総書記と、核・ミサイル 問題や不審船問題、日本人拉致問題などについて会談し、国交正常化交渉 を軸とする「日朝平壌宣言」に署名した。 しかし、拉致被害者に関し北朝鮮が示す情報には不自然な点が浮上する も、蓮池薫さんら 5 人は 10 月 15 日に 24 年ぶりに帰国した。
12 月	小柴・田中の両氏が日本人初のノーベル賞ダブル受賞 東京大学名誉教授の小柴昌俊氏が物理学賞に、島津製作所フェローの田中 耕一氏が化学賞に輝いた。ダブル受賞という日本初の快挙に、列島中が喝 采を送った。

★ 前勢のあらまし

蓮田市は埼玉県の東部に位置し、その総面積は27.27 km²である。又、JR 宇都宮線(東北本線)がおおむね南北に縦貫し、都心から約40 km、鉄道で約40分という恵まれた交通条件から近年都市化の進展が著しい。

地形は南北に長く東北部を流れる元荒川を境に菖蒲町及び白岡町に、西部は綾瀬川を境に桶川市・伊奈町及び上尾市に、東南部はさいたま市及び岩槻市にそれぞれ隣接し、 綾瀬川とほぼ平行に利根川を水源とする見沼代用水が流れている。

道路網を見れば南北に国道 122 号線が、又市の中央を県道さいたま・栗橋線が横断している。

昭和9年10月1日綾瀬村が町制を施行し蓮田町が発足し、昭和29年5月3日蓮田町・ 黒浜村・平野村の1町2村が合併して新たな蓮田町となり、昭和31年1月1日岩槻市 大字川島及び馬込の一部が編入し昭和47年10月1日市制を施行し蓮田市となり、現在 に至っている。

人口の推移

(単位:人・世帯)

								, · · · ·	• • •
年度	H 7	H 8	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4	H 1 5
人口	63,690	64,229	64,792	64,967	65,006	64,852	64,917	65,008	64,899
人口増加数	573	539	563	175	39	-154	65	91	-114
人口増加率	0.9	0.8	0.9	0.3	0.1	-0.2	0.1	0.1	-0.1
世 帯 数	20,555	21,004	21,541	21,882	22,179	22,426	22,727	23,134	23,397
世帯増加数	494	449	537	341	297	247	301	407	25
世帯増加率	2.4	2.1	2.5	1.6	1.3	1.1	1.3	1.8	0.1

消防予算

(単位:千円)

年度	市予算	消防費	比率		消防	費内部	7
十反	III J. H	/日701具	心平	常備費	非常備費	消防施設費	災害対策費
11	15,868,000	875,340	5.5	746,950	36,342	39,504	52,544
12	15,970,000	937,189	5.9	749,002	39,755	116,290	32,142
13	15,589,000	902,731	5.8	756,139	36,994	83,850	25,748
14	15,546,000	910,805	5.9	751,440	36,663	102,338	20,364
15	15,740,000	1,275,169	8.1	731,876	36,864	484,199	22,230

计算标

名 称 蓮田市消防本部・消防署

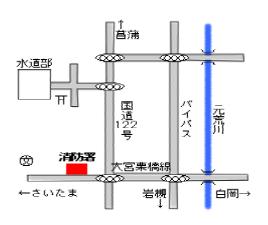
: 048 768 1109

建設年月日 昭和44年3月31日

構造・階数 鉄筋コンクリート・2階建

建築面積331.75㎡延面積588.72㎡敷地面積5042.18㎡





名 称 蓮田市消防署南分署

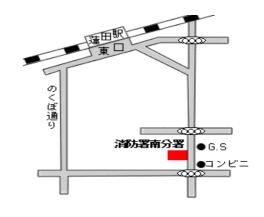
: 048 769 4396

建設年月日 昭和54年3月31日

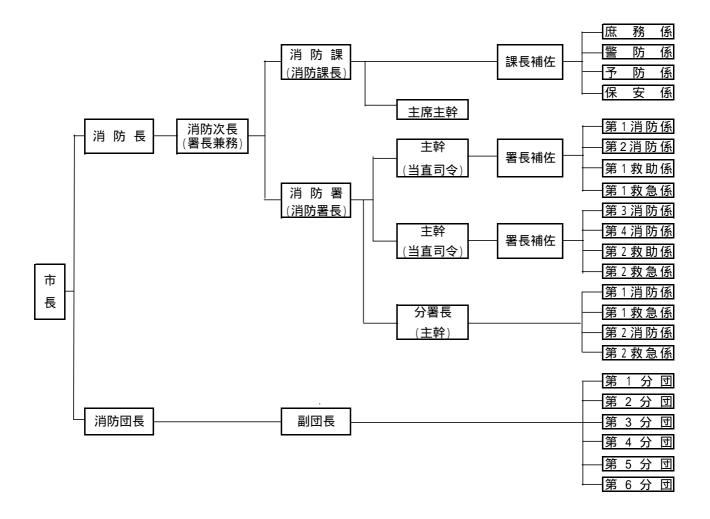
構造・階数 鉄筋コンクリート・2階建

建築面積2 1 4 . 2 4 m²延 面 積4 3 9 . 7 2 m²敷地面積1 0 2 9 . 7 4 m²





蓮田市消防機構



消防課とは?

消防課は消防の任務を遂行するために必要な事務を行う機関で、庶務係・警防係・予防係・保安係の4係に分かれ、それぞれの事務分掌に基づき事務を担当しています。

消防署とは?

市民の生命・身体・財産を守るため、日夜を問わず火災の予防・警戒・鎮圧及び救急・救助など現場活動の第一戦として活躍しています。市内には本署・南分署の2署所があり2交替制(24時間制) 勤務を実施しています。

消防団とは?

消防以外の仕事を持つ市内在住又は在勤の郷土愛精神溢れる有志で組織している市の公的機関で1本部6ヶ分団で構成されており、消防署同様に市民の生命・身体・財産を火災や自然災害から守ってくれる力強い団体です。しかし近年では新入団員の確保に苦慮しているところです。

消防課事務分掌

庶務係

- 1. 公印の保管に関すること。
- 2. 文書収受、発送及び整理に関すること。
- 3. 職員の人事及び給与に関すること。
- 4. 条例、規則の制定及び改廃に関すること。
- 5. 予算及び経理に関すること。
- 6. 物品の購入に関すること。
- 7. 職員の貸与品に関すること。
- 8. 安全衛生管理に関すること。
- 9. 消防施設の整備計画に関すること。
- 10. 消防財産に関すること。
- 11. 個人情報の管理に関すること。
- 12. 消防統計及び広報の総括に関すること。
- 13. 消防団に関すること。
- 14. 表彰及び儀式に関すること。
- 15. 公務災害補償に関すること。
- 16. 職員の福利厚生に関すること。
- 17. 消防職員委員会に関すること。
- 18. 課内の庶務に関すること。
- 19. 他の主管に属さない事務に関すること。

警防係

- 1. 警防計画及び演習訓練に関すること。
- 2. 消防車両・資機材の整備及び管理に関すること。
- 3. 消防水利の計画及び検査に関すること。
- 4. 消防相互応援協定に関すること。
- 5. 開発行為に伴う指導又は協議に関すること。
- 6. 安全運転管理に関すること。
- 7. 救急、救助の総括に関すること。
- 8. 応急手当の普及啓発に関すること。
- 9. 救急搬送証明書の交付に関すること。
- 10. 医療機関との連絡調整に関すること。
- 11. 消防用通信施設の整備及び管理に関すること。
- 12. 気象の総括に関すること。
- 13. 消防用燃料等に関すること。
- 14. その他警防に関すること。

予防係

- 1. 火災予防の広報、啓発に関すること。
- 2. 予防査察及び指導に関すること。
- 3. 建築確認等の同意事務に関すること。
- 4. 防火管理者の育成及び指導に関すること。
- 5. 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- 6. 火災予防関係法令の実施に関すること。
- 7. 火災原因及び損害調査に関すること。
- 8. 予防統計及び情報管理に関すること。
- 9. 住宅防火対策に関すること。
- 10. 火災のり災証明の交付に関すること。
- 11. 防火基準適合表示に関すること。
- 12. 防火クラブの育成及び指導に関すること。
- 13. 街角消火器の整備に関すること。
- 14. 消防訓練の指導に関すること。
- 15. その他予防に関すること。

保安係

- 1. 危険物製造所等の規制及び許認可事務に関すること。
- 2. 危険物製造所等の保安の確保及び指導に関すること。
- 3. 指定数量未満の危険物、指定可燃物等の規制及び指導に関すること。
- 4. 火薬類の規制事務に関すること。
- 5. 液化石油ガス等の保安の確保及び指導に関すること。
- 6. 危険物製造所等、火薬類及び液化石油ガス等の災害調査に関すること。
- 7. 危険物施設等の統計に関すること。
- 8. 防火安全協会に関すること。
- 9. その他保安に関すること。

消防署事務分掌

消防係

- 1. 火災等の警戒及び防御に関すること。
- 2. 消防水利の管理保全に関すること。
- 3. 消防機械器具の管理保全に関すること。
- 4. 警防調査に関すること。
- 5. 消防用通信施設の運用に関すること。
- 6. 火災原因及び損害調査に関すること。
- 7. 火災予防条例に関すること。
- 8. 消防訓練に関すること。
- 9. 街角消火器の維持管理に関すること。
- 10. 気象統計に関すること。
- 11. 署内の庶務に関すること。
- 12. 他の主管に属さない事務に関すること。

救急係

- 1. 救急業務に関すること。
- 2. 救急講習の指導及び訓練に関すること。
- 3. 救急車及び救急資機材の管理保全に関すること。
- 4. 救急統計及び報告に関すること。
- 5. 救急救命処置技術の研究に関すること。
- 6. その他救急に関すること。

救助係

- 1. 救助業務に関すること。
- 2. 特殊災害の警防活動に関すること。
- 3. 救助訓練に関すること。
- 4. 救助工作車及び救助資機材の管理保全に関すること。
- 5. 救助調査に関すること。
- 6. 救助統計及び報告に関すること。
- 7. その他救助に関すること。

消防吏員階級別年齢調べ

平成15年4月1日

	3年17七二	ᆒᆂᇀ		크소ૠ	コム	コヘE	半水	5年4月1日
404	消防士	副士長	士長	司令補	司令	司令長	消防監	計
18歳								0
19歳								0
20歳 21歳								0
21歳	1							1
22歳	1							1
23歳	1							1
24歳								0
25歳		6						6
26歳		4						4
27歳	1	3						4
28歳		1						1
29歳		3						3
30歳		1						1
30歳 31歳								0
32歳		1	1					2
33歳			1					1
34歳								0
35歳			1					1
36歳								0
37歳			2					2
38歳			1					1
39歳			3	1				4
40歳			1					1
41歳			1	2				3
42歳			5	1				6
43歳			1	1				6 2
44歳			1	1				2
45歳			1	2				3
46歳			1	1	1			3
47歳			3	1	1			5
48歳			-	3	-			3
49歳			1	2				2 3 3 5 3 3
50歳			•	3				3
51歳						1		1
52歳				2		·		2
53歳				1				1
54歳				3	3			6
55歳					1			1
56歳					•	1		1
57歳								0
57歳 58歳				1			1	2
				'	2	1	'	3
60歳						<u>'</u>		0
合計	4	19	24	25	8	3	1	84
	_ +	ıΰ	۷4	20	U	J	ı	04

本 アメリカ張歌道防土素 ! An american fire fighter's visiting!

平成 14 年 8 月 12 日(月)、アメリカ合衆国インディアナ州ブラフトン消防本部からチィム・フランクリンさんとご家族が来署しました。

Tim Franklin, a fire fighter from Bluffton, Indiana, USA, and his family came to visit Hasuda fire station on August 12nd 2002,

岸さん(市内在住)を通じて、アメリカの所属消防について意見交換(人数·車両体制、 火災件数、災害状況等)や消防ワッペンの交換をしました。

We exchanged the patches, and also the information (the number of firemen, cars, disasters) of each country.







フランクリン一家と勤務職員 with Franklins



消防水利設置状況

消防水利には、消火栓、防火水槽、プールなどの人工水利と、河川、池、海などの自然水利に区別できますが、本市ではその大部分を人工水利で占めています。 消火栓は連続的に給水され、かつ、簡便に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断・減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点もあわせもっています。 こうした消火栓の持つ弱点をカバーするためにも、防火水槽などを地域の実情に応じて計画的に整備することが必要です。

平成15年4月1日

		防	j ク	<u> </u>	K 1	漕	その他			
租別	消火栓	100m³ 以上	60m³ 以上 100m³ 未満	40m³ 以上 60m³ 未満	20m³ 以上 40m³ 未満	20m³ 未満	プール	河川溝等	その他	
公設	628		2	55	19	1	13	2		
私設			1	49	13	1	1		6	
計	628		3	104	32	2	14	2	6	

(注) その他の水利について(蓄熱槽「東光電気」1基・最沈槽「環境センター」2基、 受水槽「日本容器」1基・排水槽「東北道」2基の指定水利をいう。)

消火栓配管口径別設置数

平成15年4月1日

										<u> 平成15年</u>	4月1日
	種別	配	管	1	口 径			内	訳 (mm)		合計
		500	400	350	250	200	150	125	100	75	口削
	数	3	3	8	36	56	174	12	138	198	628

消防無線一覧表

平成15年4月1日

ī —	1			1	平成15年4月1日
局所	所 属	呼 出 名 称	配置及び積載車	出力(W)	メーカー・型式
基地局	消	しょうぼうはすだ	通信室	5	沖 電 気 ・ VM3050
至767日	防	0 & 21& 21& 9 70	他们主	5	沖 電 気 ・ VM1055
		はすだしれい 1	指令車	10	沖電気・VM1125MT
移	本	はすだしれい 2	指令車	10	沖 電 気 ・ VM1135T
	部	はすだ 1 0 1	指令車	1	沖 電 気 ・ VM1080S
動		は す だ 1	速消車	10	沖 電 気 ・ VM1107T
		は す だ 2	消防車	10	沖 電 気 ・ VM1125MT
局	消	はすだきざい 1	資 機 材 搬 送 車	10	沖 電 気 ・ VM1135T
	713	きゅうきゅう は す だ 2	救 急 車	10	沖 電 気 ・ VM1135T
•		はすだかがく 1	化 学 車	10	沖 電 気 ・ VM1107T
	防	はすだきゅうじょ 1	救助工作車	10	沖 電 気 ・ VM1125MT
携		はすだ 1 0 2	救 急 車	1	沖 電 気 ・ VM1130T
		はすだ 1 0 3	速消車	5	沖 電 気 ・ VM1130T
帯	_	はすだ 1 0 4	消防車	1	沖 電 気 · VM1090
	署	はすだ 1 0 5	化 学 車	5	沖 電 気 ・ VM1130T
局		はすだ 1 0 9	救助工作車	1	沖 電 気 ・ VM1108T
		はすだ 1 1 0	救助工作車	1	沖 電 気 ・ VM1108T
移		はすだみなみ 1	広報指導車	10	沖 電 気 ・ VM1125MT
動	南	はすだみなみ2	速消車	10	沖 電 気 ・ VM1107T
局		はすだみなみ3	消防車	10	沖 電 気 ・ VM1056
•	分	きゅうきゅう は す だ 1	救 急 車	10	沖電気・VM1125MT
携		はすだ106	救 急 車	1	沖 電 気 ・ VM1108T
帯	署	はすだ 1 0 7	消防車	5	沖 電 気 ・ VM1138T
局		はすだ 1 0 8	速消車	1	沖 電 気 ・ VM1108T
					1

周波数 市町村波 150.75MHZ 県 波 148.29MHZ

消防自動車配置状況(消防本部・署)

平成15年4月1日

							以15年4月1日
配置	種別	車 名	型 式		ポ ン プ 級別・型式	購入年月日	備 考
	指令車	トヨタ	R - E T 1 9 6 V			H 8.5	寄贈車贈 セイコーアドバンス
消	指令車	ホンダ	E - R F 1			H11.3	
防本	連絡車	トヨタ	E - S V 4 0			H 7.4	
部	連絡車	スズキ	E - H A 1 1 S			H 9.3	
	連絡車	スズキ	LA-MC22S			H13.4	寄贈車贈 セイコーアドバンス
	消防車	イスズ	K C - N K R 7 1 G N	森田ポンプ	A - 2 級 C D - 型	H 9.3	
消	速消車	ヒノ	U - F D 3 H E A A	篠崎ポンプ	A - 1 級 - A 型	H 4.7	寄贈車 水槽1500 L 贈日本損害 保険協会
防	化学車	イスズ	P — F S R 1 2 F A V 改	森田ポンプ	A - 2 級 型	S 63.12	水槽 1500 L 薬液 500 L
173	資 機 材 搬 送 車	マツダ	GE - SYE6T			H14.1	
署	救 急 車	ニッサン	E - A L E 5 0 改			H11.2	高規格
	救 助工作車	ヒノ	KC-GD1 JGBA			H 8.2	型
南	広 報 指導車	トヨタ	R - E T 1 9 6 V			H 8.5	寄贈車贈 セイコーアドバンス
分	消防車	ヒノ	K K - X Z U 3 3 1 M	森田ポンプ	A - 2 級 C D - 型	H15.3	
	速消車	ヒノ	P - F D 1 7 2 B A	森田ポンプ	A - 2 級 - B 型	H1.11	水槽 1500 L
署	救 急 車	ニッサン	E - F E G E 2 4			H 7.3	

消防相互応援協定

この協定は、消防組織法第21条の規定に基づき、市・町消防本部及び組合消防本部と相互の消防力を活用して災害による被害を最小限に防止することを目的とする。

市・町・組合	協定締結年月日	協定内容(災害種別)				
久喜地区・白岡町	昭和51年4月1日	久喜地区消防組合・蓮田市・白岡町消防 救急相互応援協定 (救急)				
岩 槻 市	昭和54年4月28日	蓮田市・岩槻市消防相互応援協定 (災害特定なし)				
埼玉県央広域	平成 8 年 8 月 1 日	埼玉県央広域・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)				
白 岡 町	昭和54年8月1日	白岡町・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)				
久 喜 地 区	昭和54年7月21日	久喜地区消防組合・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)				
上 尾 市	昭和54年8月25日	上尾市・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)				
伊 奈 町	昭和54年8月28日	伊奈町・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)				
さいたま市	平成13年12月1日	さいたま市・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)				
埼玉県下の市町村、 消防の一部事務組 合及び消防を含む 一 部 事 務 組 合	昭和60年4月1日	埼玉県下消防相互応援協定				
川口市・浦和市						
岩槻市・白岡町		東北高速道路管内市町(組合)(火災・救急)				
羽生市・久喜地区	平成4年3月12日	間の消防相互応援協定				
加須地区・群馬県		山ツ/日別作土/心技 励化				
館林地区消防組合						

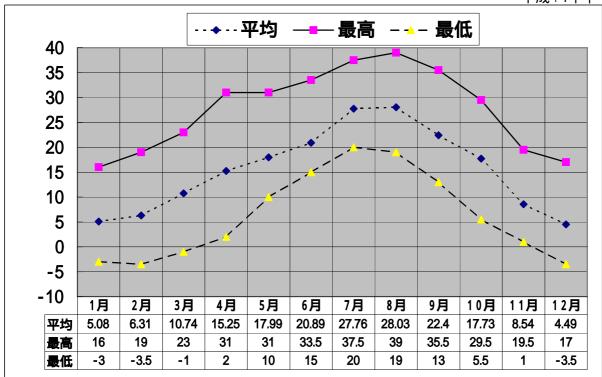
A 复象関係

気象情報受理件数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	暴風警報													0
	暴風雪警報													0
警	大雨警報							4	1	1	1			7
報	洪水警報							5	1	1	1			8
	雷警報													0
	大雪警報													0
	風雪注意報													0
	強風注意報	3	4	2	6			4	1		3		2	25
	大雨注意報	3		2		1	1	6	9	5	1			28
	洪水注意報	1		2		1	1	10	10	5	4			34
.,	大雪注意報												3	3
注 意 報	雷注意報	2		3	5	14	17	28	35	15	3			122
報	乾燥注意報	24	16	16	9	6	1				1	12	8	93
	濃霧注意報	2	1		1	1		1				1	1	8
	霜注意報				9	1								10
	高温注意報													0
	低温注意報													0
	着雪注意報												3	3
	大雨に関する情報						2	4	3	2				11
	台風に関する情報							28	17		12			57
	梅雨に関する情報						1	1						2
	大雪に関する気象情報		3											3
	雷に関する気象情報						2	4	3	2				11
	洪水に関する情報													0
情	低気圧に関する気象情報	3												3
報	高温に関する情報							3	5					8
	低温に関する気象情報													0
	降雪に関する気象情報													0
	強風に関する気象情報													0
	雪に関する気象情報	8											12	20
	雷雨に関する気象情報					9								9
	二酸化硫黄高濃度に関する情報	<u> </u>												0
そ	大気汚染状況				14	42	59	81	74	23				293
の	火災気象通報	12	13	15	12	4	2		2	23	3	8	5	99
他	消防活動支援資料	44	29	33	12	5	3		1		1	35	9	172

気温

平成14年中

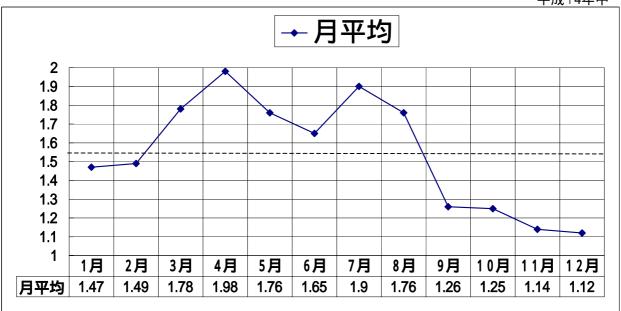


湿度

平成14年中 - 最高 - - - 最低 --**--**--平均 —<mark>--</mark>-10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 平均 51.96 48.24 47.2 54.10 | 57.52 | 63.27 | 63.40 | 60.28 | 65.93 | 61.00 | 54.88 | 60.40 最高 最低

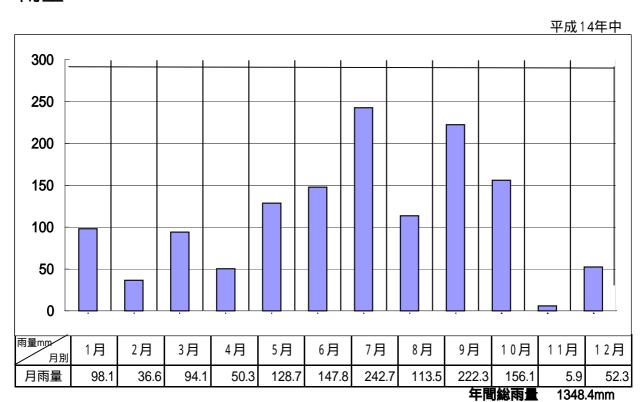
風速

平成14年中



----- 平均風速 年間平均風速 1.55mm/s

雨量



★ 元荒川/ さくらまつり

元荒川河川敷公園の桜は、ソメイヨシノが約 470 本立ち並び、河川敷に広がる桜 堤は、元荒川の景色を一変するほど見事なものです。3 月下旬からライトアップされて、 昼夜にかかわらず、土手を散歩する人の目を釘付けにしています。

また、4月の上旬には、毎年「商工祭さくらまつり」が開催され、模擬店が出店されたり、 様々なコンテストやゲームなどが行なわれ、たくさんの人で賑わっています。







危険物類別施設(完成検査済施設)数及び事務処理状況

平成14年度

	区分				施設数				処 理 状 況 (交 付)			
製 ì	告所等の	第	第	第	第	第一	第	混	許	可	完成検査	
	区分		二 類	三類	四類	五類	六類	在	設置	変更	設置	変更
	製造所				3			2		4		4
	屋内貯蔵所				19			2	1			
	屋外貯蔵所				2							
貯	屋内タンク貯蔵 所				1							
蔵所	屋外タンク貯蔵 所				33					1		1
	地下タンク貯蔵 所				35				1		1	
	移動タンク貯蔵 所				14							
取	取 給油取扱所 扱 一般取扱所				28					5		4
					23			1	2	2	2	2
	合計				158			5	4	12	3	11

危険物施設申請・火薬類許可申請事務処理状況

単位:円

	ф.	ىد	+	Dil.		件	数	金	額
	申	Ā	青	別		13年度	14年度	13年度	14年度
設	置	許	可	申	請	1	4	52,000	131,000
変	更	許	可	申	請	4	1 2	97,500	403,000
完	成 検	査 申	請〔	設 置)	1	3	26,000	65,500
完	成 検	査 申	請〔	変 更)	4	1 1	48,750	175,500
仮	使	用層	承 認	申	請	2	9	10,800	48,600
完	成 検	查前	前 検	査 申	請	2	4	12,000	64,400
危险	食物 仮	貯蔵・	仮取扱	水承認申	請				
少量	量 危 険	物等?	タンク	検査申	請				
	火薬	変類 譲 受	受許可	申請			1		2,400
	火薬類消費許可申請						1		7,900
	É	ì	Ī	i†		1 4	4 5	247,050	898,300

倍数別危険物施設状況

平成14年度

施設区分			貯	廬	載	所		取 扱	所
	45-11	屋	屋	屋	屋	地	移	給	_
	製	内	外	内	外	下	動	油	般
	造	貯	貯	タ	タ	タ	タ	取	取
区分	所	蔵	蔵	ン	ン	ン	ン	扱	扱
(指定数量)		所	所	ク	ク	ク	ク	所	所
施 設 数	5	21	2	1	33	35	1 4	28	24
1 0 倍 以 下	1	11	1	1	11	23	1 3	1	15
10倍を超え10倍以下	2	7	1		14	9	1	11	7
100倍を超え200倍以下		3			3	1		9	
200倍を超え1000倍以下	2				5	2		7	2
1000倍を超えるもの									

防火関係団体

最近の火災は、複雑多岐化の傾向にあり、従来にない要因による火災や出火経過等を特定しにくい火災が増加しつつあります。毎年6万件以上の火災が全国で発生しており、多くの尊い人命や財産が失われています。蓮田市内では、特に大きな火災はありませんが、これも防火安全協会会員の防火PR等の成果と思われます。

蓮田市防火安全協会には、現在124事業所が入会しており、防火思想の普及徹底を図り、防火対象物や一般住宅の火災予防に努めています。 また、危険物災害を未然に防止するため、危険物の取り扱いや安全管理の向上を図っており社会公共の福祉の増進に寄与しています。

事業の概要

- 1 防火思想の普及徹底に関すること
- 2 防火管理の調査及び研究に関すること
- 3 危険物の安全管理思想の普及及び啓発に関すること
- 4 危険物の取扱いと安全管理等の調査及び研究に関すること
- 5 関係法令の普及徹底に関すること
- 6 講習会及び視察研修等に関すること
- 7 災害発生時等の相互協力に関すること
- 8 表彰に関すること
- 9 会員相互の親睦に関すること
- 10 その他本会の目的達成に関すること

危険物 無事故の主役は あなたです

火災予防ポスターコンクール優秀作品



北小学校 5年生 吉崎有美 さん



黒浜西小学校 4年生 星野悠 さん

蓮 田 市 消 防 本 部

平成14年中

												十八八	T 1	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	災 発 生 件 数	2	2	7	2	2	2	1	3	1	2	1	2	27
種	建物火災			1	1	1	2	1	1		1	1	1	10
	車両火災	1	1							1				3
別	その他火災	1	1	6	1	1			2		1		1	14
原	ガスコンロ				1		1							2
	焚 き 火		2											2
	電気関係								1					1
	タ バ コ			1									1	2
因	子供の火遊び						1							1
	石 油 ストー ブ													0
	風 呂 釜													0
	放火(疑い含 お)								1			1		2
	そ の 他	1								1				2
別	不 明	1		6	1	2		1	1		2		1	15
負	傷 者		1											1
死	者										1		1	2
焼損	員表面積(m²)						2		2		0.9	5.4		10.3
焼損	員床面積(m²)			78	0.9	47.07		2	1		52.9	3		184.87
焼	損 棟 数			1	1	2	2	1	1		3	2	1	14
火元焼損区分	全 焼			1		1					1	1		4
焼	半 焼													0
損区	部 分 焼						2	1	1					4
分	ま か				1								1	2
延灼	焼による棟数					1					2	1		4
罹	災 世 帯				1	1	2		1		2			7
罹	災 人 員				2	1	8		3		5			19
	建物(千円)			278	28	629	139		33		3,199			4,306
損 害 額	内容物 (千円)			234	13		124	949	5		480			1,805
額	その他 (千円)			20										20
	合計(千円)			532	41	629	263	949	38		3,679			6,131

平成11年中の火災件数 31件 損害額 22,604 千円 平成12年中の火災件数 43件 損害額 59,350 千円 平成13年中の火災件数 30件 損害額 149,807 千円

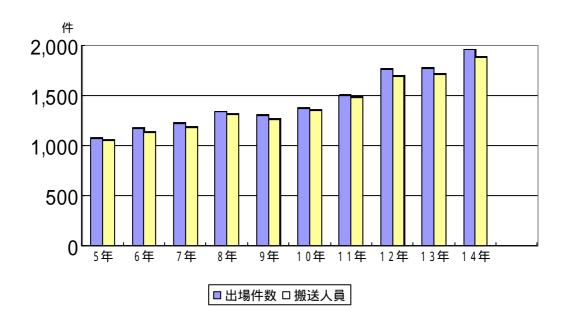
その他火災は、枯草等の火災をいう。

当市の平成 14 年中の救急出場件数は 1,959 件(前年 1,776 件) 搬送人員にあっては 1,885 人(前年 1,713 人)であり、市民の約 34 人に 1 人(前年 38 人に 1 人)が救急搬送されたことになります。

このように救急出場件数・搬送者数は年々増加しており、今後も高年齢化や疾病の多様化により、増加するものと予測されます。

救急業務は市民が生活する上で、必要不可欠な行政サービスとして定着しており、高規格救急自動車・救急資器材などの整備、救急救命士の養成や救急隊員の資質の向上、さらには応急手当の普及啓発を積極的に実施し、市民と共に1人でも多くの命が救えるよう努め、高度な救急業務を推進する必要があります。

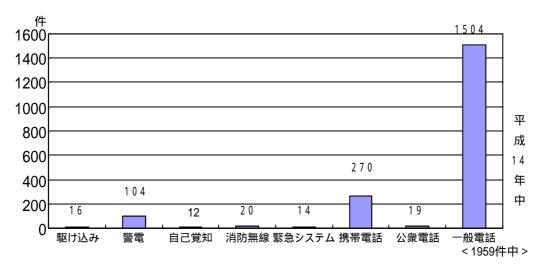
10年間の救急出場件数・搬送人員状況



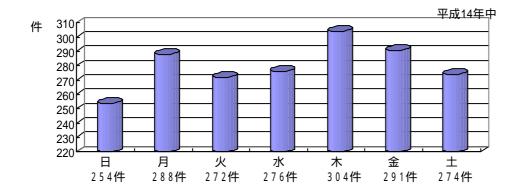
平成	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11 年	12年	13年	14年
件数	1,079	1,178	1,223	1,339	1,307	1,374	1,508	1,761	1,776	1,959
人員	1,054	1,139	1,185	1,313	1,267	1,358	1,482	1,691	1,713	1,885

救急通報手段状況

救急要請の手段ですが一般電話からの 119 番通報が主流で次に携帯 119 番となります。



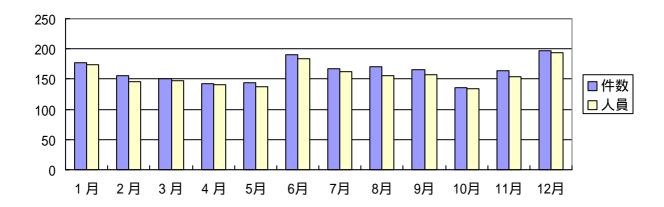
曜日別出場状況



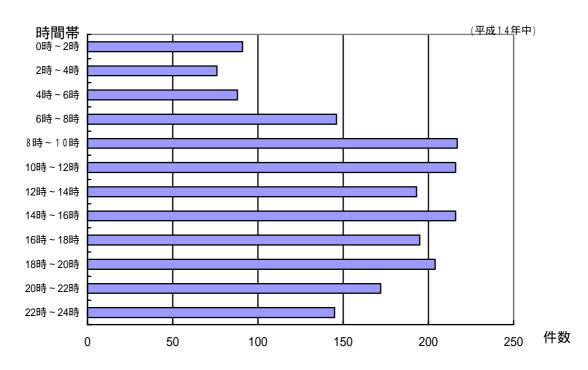
区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	日	1			48		2	26	1	5	146	25	254
曜	月	1		1	57			29	1	8	162	29	288
"=	火	3			43	7	1	29	3	6	156	24	272
╽╒	水				62	1	1	25	2	7	161	17	276
	木			2	53	3	1	33	2	4	175	31	304
	金	2			54	4	1	33	1	8	141	47	291
別	土				48	1	4	30	3	4	150	34	274
	計	7	0	3	365	16	10	205	13	42	1091	207	1959

事 故 種 別 件 数 ・ 搬 送 人 員 状 況 (上段は件数、下段は人員)

∖ 種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	
$ \cdot $		然			働	動	般		損			合
		災			災	競	負		行		の	合 計
月	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	
				30	1	1	22	1	3	103	16	177
1月				34	1	1	22	1	3	98	14	174
28	1			15	1	1	11	1	3	104	18	155
2月	1			17	1	1	11	1	2	94	17	145
2 🖽				25		1	17		5	83	20	151
3月				26		1	17		4	80	19	147
4日				22	1	2	16	1	2	80	19	143
4月				25	1	2	16	1	1	76	19	141
5月	1			28	1	1	14	2	1	78	18	144
эΗ				28	1	1	14	2	1	73	17	137
6月	1			41	5		16	1	4	109	14	191
0月				49	4		15		3	99	14	184
7月				32		1	14	2	7	91	20	167
//				37		1	14	2	3	86	19	162
٥П			1	29	2		16		4	94	24	170
8月				29	1		15		3	88	20	156
9月	1		1	33	1	1	20	2	5	91	10	165
9月				37	1	1	19	2	5 3	84	10	157
10月	1			31		1	18		2	72	10	135
10/3				37		1	16			70	10	134
11月	1		1	33	1	1	23	1	1	82	20	164
11/3				32	1	1	22	1		77	20	154
12 F	1			46	3		18	2	5	104	18	197
12月				50	3		18	4	3	99	17	194
스=1	7	0	3	365	16	10	205	13	42	1091	207	1959
合計	1	0	0	401	14	10	199	14	26	1024	196	1885

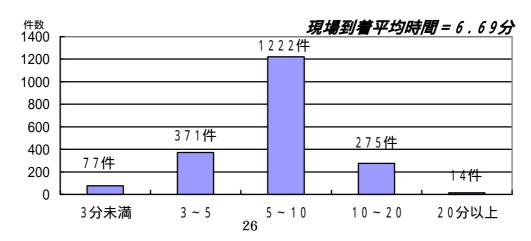


時 間 別 出 場 件 数



事故種別時間帯	火災	自然災害	水難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急 病	その他	合計
0 ~ 2				8			9		4	67	3	91
2 ~ 4	1			10	1		3	4		53	4	76
4 ~ 6			1	11			8	1	3	64		88
6 ~ 8				31			6	1	3	102	3	146
8 ~ 10	1		1	31	2	1	26	2	7	117	29	217
10 ~ 12	1		1	48	2	4	28		4	91	37	216
12 ~ 14	1			34	4		21		1	95	37	193
14 ~ 16				35	3		31		7	99	41	216
16 ~ 18	1			44	2	1	19	1	3	92	32	195
18 ~ 20				54		1	17	1	4	118	9	204
20 ~ 22				35		2	27	2	4	95	7	172
22 ~ 24	2			24	2	1	10	1	2	98	5	145
合計	7	0	3	365	16	10	205	13	42	1091	207	1959

現場到着所要時間別出場件数



事故種別年齡区分別搬送人員

平成 14 年中

事婚	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	
		然			働	動	般		損		σ	ح≟⊥
		災			災	競	負		行		の	싊
# 短分	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	
新生児											43	43
乳 幼 児				18			32			85	9	144
少年				38		4	7	1	1	29	3	83
成 人	1			300	14	6	65	13	23	442	74	938
老人				45			95		2	468	67	677
計	1	0	0	401	14	10	199	14	26	1,024	196	1885

年齢区分は次のとおり分類する

・新生児 生後28日未満の者

・乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者

・少年 満7歳以上満18歳未満の者

・成人 満 18 歳以上満 65 歳未満の者

・老人 満65歳以上の者

事故種別傷病程度別搬送状況

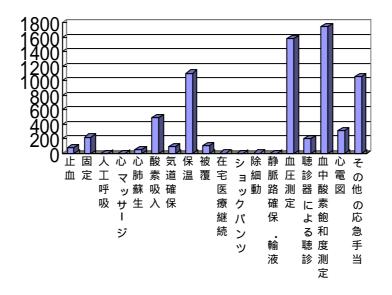
平成 14 年中

争	故種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	
\			然			働	動	般		損		6	ᄼᆂ
			災			災	競	負		行		0	合計
傷疹		災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	
死	亡				1			3		4	29		37
重	症				1	1		15		7	150	79	253
中	等 症				1	6	3	56	4	10	483	107	670
軽	症	1			1	7	7	125	10	5	362	10	844
	計	1			1	14	10	199	14	26	1024	196	1804

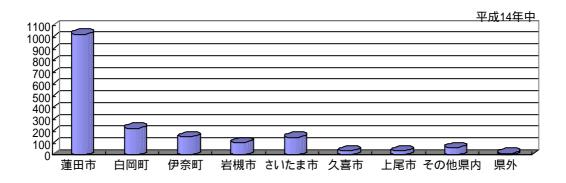
救急隊による応急処置実施状況

平成 14 年中

Γ		応	応	止	固	人	心	心	酸	気	保	被	在	シ	除	静	血	聴	ш	心	そ	合
		急	急				臓						宅	3		脈		診	中酸		の	
\	\	処置	処			エ	マ	肺	素	道			医	ッ		路	圧	器	素		他	
	+	且	置				·		-21	,			療	ク	細	確	,	に	飽	電	の	
事			対			呼	+	蘇	吸	確			継	パ	WH	保	測	ょ	和度	7	応	
故	\	\	象			H-J-	ו	黒木	νχ.	唯			続			•	刔	る	の		急	
種		\setminus	人				'						処	ン		輸		聴	測		処	
別		\	数	血	定	吸	ジ	生	入	保	温	覆	置	ツ	動	液	定	診	定	义	置	計
急		病	1024	6	15	3	1	39	354	74	682	5	6	-	4	-	897	154	977	245	796	4257
交	通事	故	401	42	141	1	1	2	22	3	159	68	1	1	1	1	351	14	367	6	92	1268
-	般 負	傷	199	28	41	1	1	8	24	11	109	32	1	-	-	-	151	21	182	11	75	693
そ	の	他	261	8	27	-	-	5	95	11	156	8	1	-	-	1	186	15	223	53	95	883
合		計	1885	84	224	3	0	54	495	99	1106	113	6	0	5	1	1585	204	1749	315	1058	7101



搬送先地域別状況



救急支援活動状況

救急支援とは、救急現場の状況によって、消防車又は救助工作車等が同時に 出場して救急活動の支援を行うもので、 幹線道路の交通事故などでは交通量 も多く、危険を伴い安全な救急活動がスムーズに出来ない場合があります。

住宅・中高層等の建物においても階段が狭く搬出困難な場合、また意識が無い傷病者などさまざまな事例に対し活動しています。

平成14年中

事故種別	急病	交通	一般	自損	労災	合 計
出場件数	1 4 5	9 4	1 4	1 3	2	2 6 8

応急手当普及啓発活動

突然の事故や急病人などが発生した場合、救急車が現場に到着するまでの間、 現場に居合わせた人(バイスタンダー)が適切な応急手当を速やかに行うこと により傷病者の救命率を高めます。

今後も市民一人一人が応急手当の重要性を理解し、技術を覚えていただくよう更に応急手当普及啓発活動を図っていきます。

(平成14年中)

普 通 救	命 講 習	その他	の講習
受講人員	実 施 回 数	受 講 人 員	実 施 回 数
3 7 2	1 6	6 3 6	2 9

普通救命講習:自主防災・中学生・市役所新職員・消防団員など幅広く実施しました。 その他の講習:小・中学の教員や子供育成会など各団体に講習会を開催しました。

救助活動とは、災害に因り生命または身体に危険が及んでおり、かつ、自らその危険を排除 することのできない者について、その危険を排除し又は安全な状況に救出することを目的とし ています。

そのため当消防本部に於いても、少ない資機材の中でより的確且つ効率よく救助活動できるよう日々精進しているところであります。

事故種別・発生場所別出場状況

平成 14 年中

			事 古	女 看	重另		火	交通	水難	風水災	機よる東	建よ物る	ガ酸 ス欠	破裂	そ事の	合
务	生	場	所		\		災	事 故	事故	水災害等	事に故	等事に故	及事び故	事故	他故	計
屋	住					居	3								3	6
内	そ	の	他	の	屋	刄	4				1				1	6
屋	道	圖	速自	1動	車国	道										
	路	そ	თ [,]	他の	道	路	1	2 1		1					1	2 4
	水	内		水		囲	1		6							7
	面	外		水		面									1	1
	Щ					臣										
外	そ	の	他	の	屋	外	6				1				2	9
地						ィ	-	_								_
そ			の			他										
			計				1 5	2 1	6	1	2				8	5 3



事故種別·発生場所別活動状況

平成 14 年中

		事	故種	1 別		火	交 通 事	水難事	風水災害等自 然 災 害	機械が事	建物等	ガススみ	破 裂 事	そ事の	合
郅	生	場月	Ť			災	故	故	等害	に故	に故	び故	故	他故	計
屋	住				居									3	3
内	そ	の他	ı o	屋	内									1	1
屋	道	高速	自動	車国	道										
	路	その	他(の道	路		1 5		1					1	1 7
	水	内	水		面			5							5
	面	外	水		面										
	Щ				田										
外	そ	の他	ı o	屋	外									2	2
地	_				下										
そ		の			他										
		計					1 5	5	1					7	2 8

事故種別・発生場所別救助人員状況

平成 14 年中

		事		重 別		火	交通事	水難事	風水災害等自 然 災 害	機械事	建物等事	ガス及事	破裂事	そ事の	合
多	生	場」	听			災	故	故	等害	に故	に故	び故	故	他故	計
屋	住				居									3	3
内	そ	の f	也の	屋	内									1	1
屋	道	高速	速自重	車国	道										1
	路	そ (の他	の道	路		1 8		2					1	2 1
	水	内	기	(面			5							5
	面	外	기	<	面										
	Щ				岳										
外	そ	の f	也の	屋	外									2	2
地					下										
そ		0	ס		他										
		i	†				1 8	5	2					7	3 2



救助活動状況

平成 14 年中

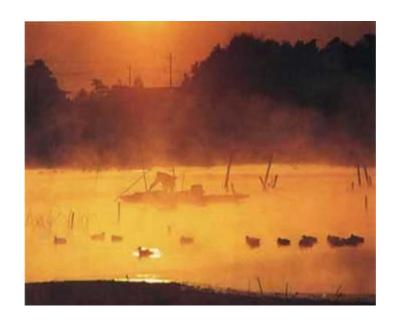
事	故種別	区分	出動件数	活動件数	出動人員	活動人員	救助人員
火	災	建物	7		2 1		
^	火	建物以外	8		2 4		
交	通	事 故	2 1	1 5	6 5	4 6	1 8
水	難	事 故	6	5	1 9	1 6	5
風	水害等自	然災害	1	1	3	3	2
機	械による	る事故	2		6		
建	物などによ	る事故					
ガ	ス及び酸	欠事故					
破	裂 및	事 故					
そ	の他の	事故	8	7	2 4	2 1	7
	計		5 3	2 8	1 6 2	8 6	3 2



黒浜沼は、JR蓮田駅から東へ約 2.5 キロの位置にあり、上沼と下沼の二つの沼から成っています。沼周辺の休耕田や湿地には、ヨシやマコモ、ガマなどの湿性植物が生育しています。最近では、ミズニラやジョウロウスゲなどの絶滅危惧種も確認されています。

その他、昆虫類では、ウチワヤンマなどのトンボ類やアカガネオサムシなどの甲虫類も多数生息しています。また、ゴイサギやシギなどの鳥類が約120種程確認されており、バードウオッチングを楽しむ人が見受けられます。

このように、自然度が高く、学術的にも貴重なものであることから、1979(昭和 54)年には、県の自然環境保全地域となっている屈指の自然空間です。



現在蓮田市消防団は、市内在住及び在勤の郷土愛溢れる 143 名によって 1 本部 6 ヶ分団で構成されています。消防団員は消防職員と異なり、消防以外に仕事を有しているため、火災発生の際には自分の仕事を中断して現場に出動しますし、夜間の就寝中でもサイレンの音で飛び起き、火災現場に駆け付け、消防職員と協力して消火作業に従事します。

消防団員は、皆さんの生命・財産を火災から保護することだけではなく台風や集中豪雨などの風水害や地震等にも出動し、これらの災害による被害の軽減に努めています。

また、災害のないときも、火災予防活動や機械器具の点検・消火栓等の調査などを実施し災害に備え万全を期しています。

消防団の主な行事(平成14年度)

平成 14 年

4月 辞令交付式

第1回分団長会議

5月 新入団員講習会(市立図書館)

6月 本部役員会議(第1回)

7月 消防団幹部県外研修

消防団第2分団詰所落成式

第2回分団長会議

非常招集訓練・第4回スポーツコミュニケーション大会

8月 消防団員健康診断

9月 蓮田市防災総合訓練

普通救命講習会

10月 本部役員会議(第2回)

第3回分団長会議

11月 消防特別点検(黒浜西小学校)

秋季全国一斉火災予防運動

12月 第4回分団長会議

歳末特別警戒

平成 15 年

3月 消防団家族慰安会(むさしの村)

春季全国一斉火災予防運動

新第1分団詰所建設

埼玉県消防協会主催幹部研修(埼玉県消防学校)

第5回分団長会議



平成15年3月1日(土) 消防団家族慰安会が加須市「むさしの村」で開催され消防団員を支える家族の皆様に"田川寿美ショー"を楽しんでいただきました。

消防団構成

平成15年4月1日

		十九五十十八五日
分団名	条例数	実員数
団本部	4	4
第1分団	22	22
第2分団	33	23
第3分団	24	25
第 4 分団	24	22
第 5 分団	22	21
第6分団	28	26
合計	157	143

分団詰所所在地

分団名	所在地	建築延べ面積(m²)	敷地面積(㎡)
第1分団	東5丁目7 2	102.06	393.38
第2分団	上2丁目13 2	102.06	340.01
第3分団	閏戸 3984 2	53.62	82.64
第 4 分団	上平野 606 3	66.6	92.56
第 5 分団	黒浜 3834 2	66.6	114.3
第6分団	黒浜 1132 3	52.65	99

在職年数別消防団員数

平成15年4月1日

在職年数 分団別	計	5年未満	5年以上 10年未満			20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
本部	4				1	1	2	
第1分団	22	6	3	5	5	2	1	
第2分団	23	7	8	4	4			
第3分団	25	11	7	5	2			
第4分団	22	9	5	7	1			
第5分団	21	6	4	6	4	1		
第6分団	26	5	8	8	2	3		
合計	143	44	35	35	19	7	3	

消防自動車配置状況 (消防団)

平成 15 年 4 月 1 日

分団名	車名・型式	ポンプ 会社名	ポンプ級別 型式	購入年月日
第1分団	いすゞU-NKR58E2N 改	森 田 ポンプ	A 2級 CD 型	H 2.11
第2分団	いすゞKC-NKR71GN	森 田 ポンプ	A 2級 CD 型	H10.10
第3分団	いすゞU-NKR58E2N 改	森 田 ポンプ	A 2級 CD 型	H 4.12
第4分団	いすゞKK-NKR71GN	G M いちはら	A 2級 CD 型	H12. 3
第 5 分団	いすゞKK-NKR71GN	森 田 ポンプ	A 2級 CD 型	H14. 2
第6分団	いすゞU-NKR58E2N 改	森 田 ポンプ	A 2級 CD 型	Н 4.3



消防職員・市職員有志は、「はすだ市民まつり・流し踊り」に火災予防啓蒙活動の一環として参加しました。

キャッチフレーズは「今年も参加!消火一発(イッッパ…ツ) モンペ連盟」と称し、恒例?のモンペ姿で「はすだ踊り」を面白おかしく踊り、また大きな 幟 のぼり を掲げ、会場の市民に火災予防の PR を図りました。

編集・発行: 蓮田市消防本部 庶務係 TEL: 048-768-1109 (代表)

FAX: 048-768-9937

E-Mail: shoubou@city.hasuda.saitama.jp ホームページ: http://www.city.hasuda.saitama.jp/
